

開催日時：2019年12月14日(土)13:00~16:15

会場：愛媛大学重信キャンパス 看護学科棟第1講義室(愛媛県東温市志津川)

テーマ：急性期病院における高齢者ケア

講師：松江市立病院 老人看護専門看護師 吉岡 佐知子 氏(せん妄ケア)

島根県立中央病院 老人看護専門看護師 立原 怜 氏(意思決定支援 ~退院支援・退院調整~)

申込者数：75名(会員23名、非会員52名)

参加者数：74名(会員22名、非会員52名)

アンケート回収率：100%

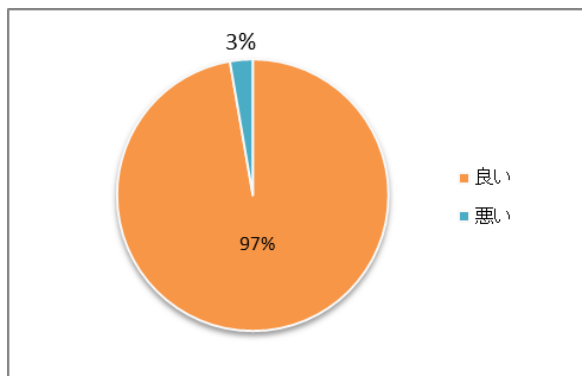
I. 参加者の概要について

表1 参加者の概要 n=74

項目	人 (%)
現在の勤務先	
一般病院	68 (92)
介護施設	0 (0)
教育機関	3 (4)
その他	2 (3)
無回答	1 (1)
看護師経験年数	
3年未満	9 (12)
3年以上5年未満	5 (7)
5年以上10年未満	8 (11)
10年以上	52 (70)
研修を知ったきっかけ	
上司の紹介	25 (34)
老年看護学会ホームページ	18 (24)
同僚の紹介	9 (12)
学会関係者の紹介・FAX	7 (10)
学会からのメール	6 (8)
ポスター	4 (6)
ニュースレター	1 (1)
その他	4 (5)
受講動機について(複数回答)	
テーマに関心があった	67 (54)
講師に関心があった	20 (16)
上司の勧め	18 (14)
会場がアクセスしやすかった	10 (8)
参加費が安かった	5 (4)
知人のすすめ	2 (2)
なんとなく	1 (1)
その他	2 (2)

II. 会場・日程について

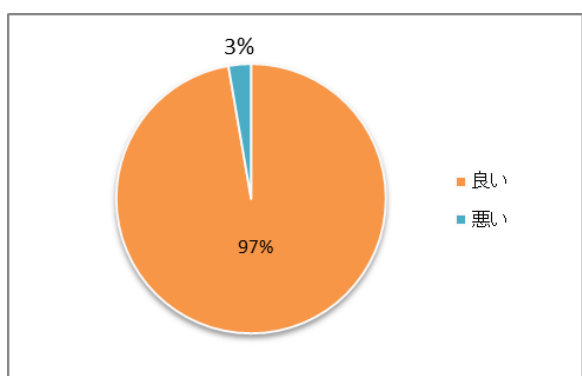
1. 開催時期について



【ご意見】

- ・インフルエンザ等の流行時期はやめた方がいいと思う。もう少し早い時期 秋くらいがよい。
- ・10月から12月にかけて研修等が多い時期なので、年度前半であれば嬉しい。4月～9月頃。

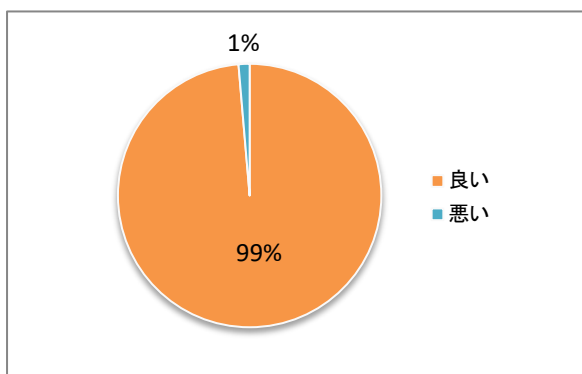
2. 開催場所について



【ご意見】

- ・松山市内など空港、主要な交通機関から遠すぎる。バス、タクシーで約6000円かかった。(松山空港から)
- ・遠い。希望：看護協会

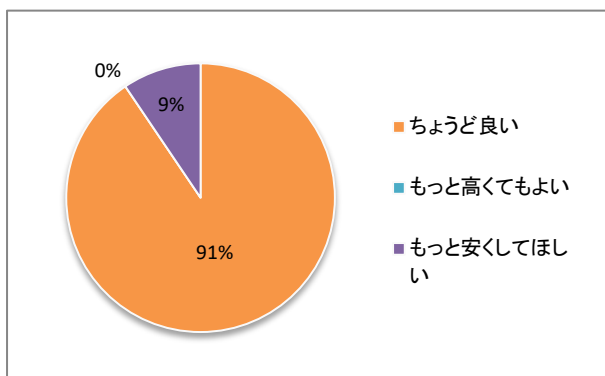
3. 開催時間について



【ご意見】

- ・午前中の方がよい。

4. 会費について

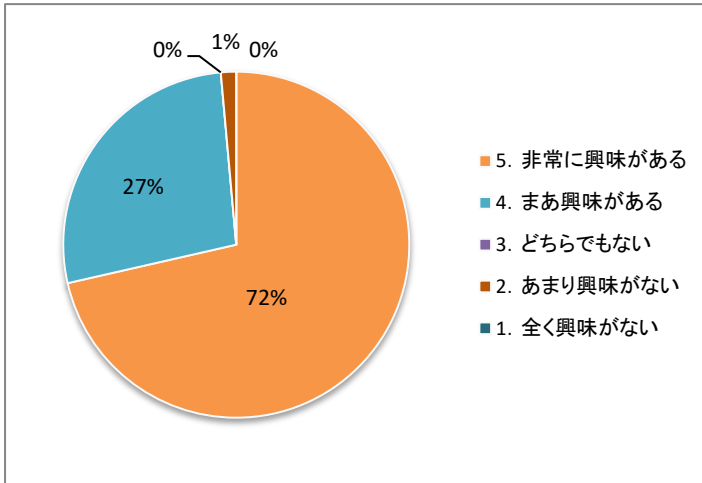


【ご意見】

- ・希望金額：1000～2000円

Ⅲ. 今回の研修の振り返りとご意見

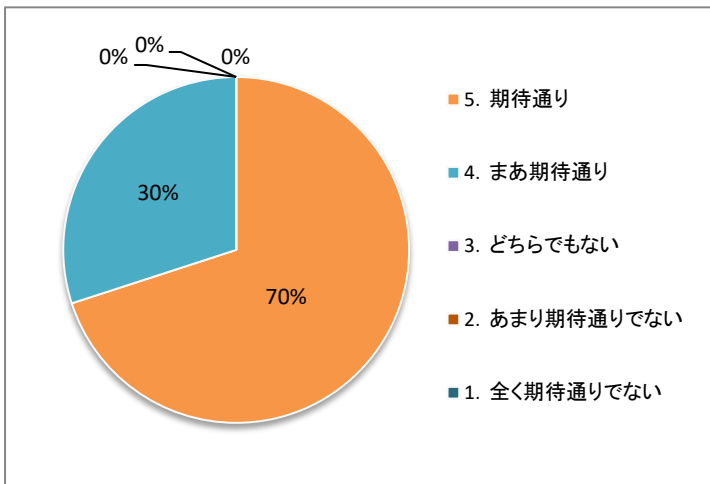
1. 本日のテーマについて



【ご意見】

- ・受け持ちとして支援が必要となるものが多くあり、困ることもあったので、テーマが合っておりよかった。

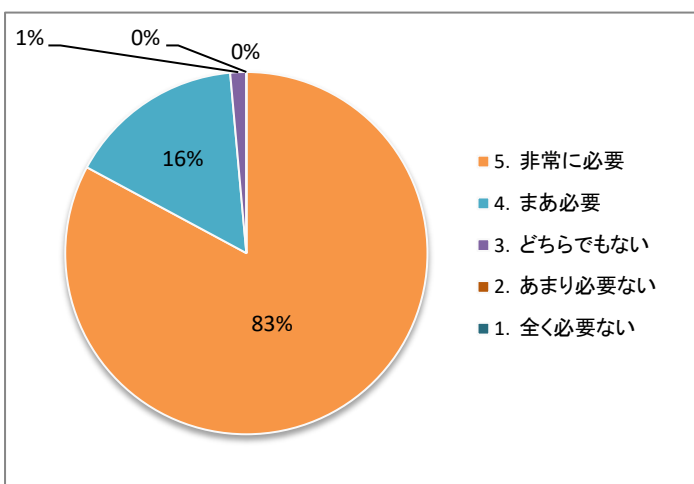
2. 本日の研修は期待通りでしたか



【ご意見】

- ・せん妄と認知症患者さんとの関りや、独居高齢者の意思決定支援について理解を深められた。

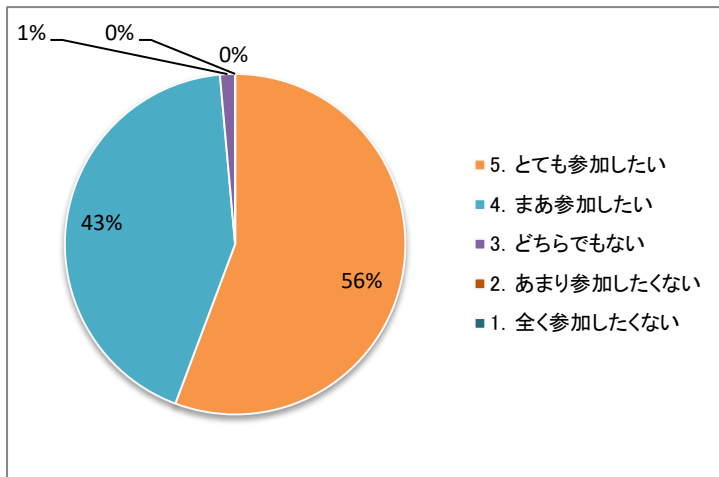
3. 老年看護における看護師の生涯学習支援について



【ご意見】

- ・高齢者が増え、医療者として関わる人が多いので、知る必要はあると思う。

4. 今後も本学会主催の研修に参加したいですか



【ご意見】

- ・興味のあるテーマや知識の視野を広げるために参加したい。
- ・内容に興味があれば参加してみたい。

IV. 今後、研修として取り上げてほしいテーマ、あるいは日本老年看護学会へのご要望

- ・抑制について、できるだけ抑制をしないケア
- ・せん妄、認知症患者に使用する薬剤
- ・認知症コミュニケーション
- ・意思が表出できない人の意思決定支援は本当に大事。倫理研修を含めてもっと深めてほしいと思う。
- ・認知症患者の疼痛コントロール(特に整形外科やがんに対して)
- ・精神症状の薬物治療について
- ・ケア加算について
- ・倫理
- ・認知症関連
- ・認知症高齢者の意思決定(実践例、事例検討、多職種協働による検討会など) ex.がん治療
- ・病院看取り、自宅看取り、家族ケア

V. 認知症ケアを実践していて、困っていること

- ・不穏やせん妄時の対応として、内服薬を飲ますか飲まさないか悩む時がある。
- ・なかなかこちらの説明をわかしてもらえず安静が守れないため抑制してしまう。
- ・認知症患者に看護師1人がつきっきりになるため、夜勤は手が足りない。
- ・昼夜逆転
- ・帰宅願望による徘徊
- ・歯磨きを嫌がりしなかったり、水を飲みこむ行為があり、十分な歯磨きが出来ない
- ・高齢者に上から目線で指導してしまうスタッフに指導がうまく出来ない。高齢者を尊重した対応をするために学習できる内容があれば参加したい。
- ・急性期病院で実現できるケアが十分に行えない。この難しさをどう対処するかが悩む。
- ・認知症者の意思を考えられていることが少ないのではないかと。先日もデイケアの時に症状説明の際、本人はICの場に呼ばれず、家族のみでICとなり、本人が非常につらく悲しい思いをされていることを聞いた。認知症者の能力を低くみていることがしばしば感じられる。

- ・抑制をし続けることでせん妄を悪化させて精神科へ行った事例があった。精神科へ行くことをほとんどのスタッフが妥当だと考えていて、どうしたら良かったのかと今でも考えている。
- ・看護師の認知症の考え方
- ・抑制したくない患者を他スタッフがする(せん妄が悪化する)。チーム統一出来ないので困っている。
- ・ゆっくり見守りをしてあげたいが、マンパワー不足で一人一人に十分時間がとれない。

VI. その他

- ・認知症、せん妄患者に対して、身体抑制やケアを考え直すことができた。
- ・吉岡先生のお話、とても興味深く勉強になった。立原先生のお話、とても勉強になった。
- ・せん妄に対して、よく理解できていない部分もあり、大変勉強になった。また同じ地域職種としても、同じ取り組み、悩みが共通しており勉強になった。
- ・今回、研修を受け、悩んでいた事の答えがあり、「目からうろこ」、「スッキリ」した気持ちとなった。